

3年社会科 単元名「はたらく人とわたしたちの暮らし」(13時間)

1 単元設定の理由

本単元では、自分たちの地域の人々の生産や販売の実際について、観察・調査したり表現したりして、仕事に携わっている人の工夫を具体的に考える。特に鮮魚の扱いの工夫について着目させ、自分たちの住む地域が水産業と大きなかかわりがあることを捉えさせたい、

2 単元目標

地域には、販売に携わる仕事があり、自分たちの生活を支えていることやこれらの仕事に見られる特色、他地域などのかかわりを理解するとともに、販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとする。

見学・調査したり、資料を活用したりして具体的に調べたことをグラフや白地図、作品などにまとるとともにこれらの仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えたことを適切に表現する。

3 単元の評価基準

地域の人々の販売の仕事の様子や水産物の販売に関心をもち、意欲的に調べている。

地域の人々の販売の仕事や水産物と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。

観点にもとづいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の販売の仕事の様子について必要な情報を集め、読み取っている。

地域の人々の販売に見られる仕事の特色や国内の他地域などのかかわりを理解している。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	普段、家の人とスーパーマーケットで買う商品やスーパーマーケットで買い物をする理由について話し合う。	事前に家族にインタビューさせる。
2	学習問題を立てる。 スーパーマーケット見学の計画を立てる。	
4	スーパーマーケットを見学して調べる。 ・売り場の工夫(バックヤードで鮮魚をさばく) ・品物はどこから運ばれてくるか(魚の産地調べ) ・たくさんのお客さんがくる秘密(地元の新鮮な魚が買える。外国の魚もある。) ・販売以外の取組 など	特に水産物の販売について着目させる。
4	スーパーマーケットについてさらに調べる。	教科書や資料集を活用させる。
2	スーパーマーケットについてわかったことをまとめる。	働く人の工夫とお客さんの願いとの関連を明らかにしながらまとめる。
外部連携 / 教材等 ・地域のスーパーマーケットとの連携		